BACILEX

農林水産省登録 第15000号

微生物殺虫剤（BT水和剤）

バシレックス 水和剤

バシレックスは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

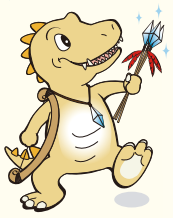
2種類の BT菌 アイザワイ・クルスタキ を混合した「微生物殺虫剤」です！

aizawai　kurstaki

樹木類にも！

りんご・かきにも！

ここがポイント　薬剤抵抗性対策にも!!



- 有効成分は自然界に存在する**昆虫病原性細菌！**
- **他剤抵抗性**や**突発的に発生**したチョウ目害虫の幼虫に**安定した効果**を示す！
- **使用回数に制限がなく、**有機・特別栽培農産物にも使用可能！
- 天敵等の有用昆虫に対して**影響が少ない！**

野菜類にも！

製造・販売　株式会社エス・ディー・エス バイオテック
東京都中央区東日本橋一丁目1番5号

微生物殺虫剤（BT水和剤）

農林水産省登録 第15000号

バシレックス 水和剤

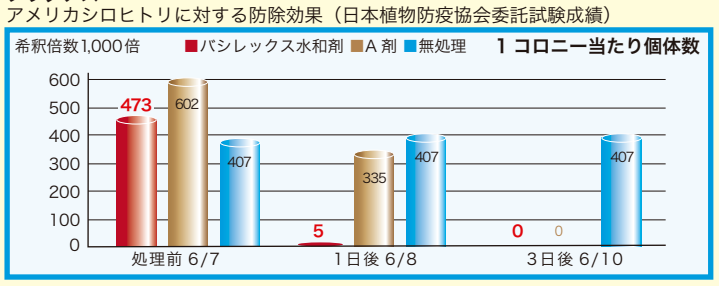
有効成分：バチルス チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素・・・10.0%
（力価として・・・1000B.m.B 単位 /mg）

性　　状：類白色水和性粉末

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BT を含む農薬の総使用回数
野菜類	アオムシ コナガ	1000～2000 倍	発生初期 ただし、収穫前日まで	―	散 布	―
	タマナギンウワバ	1000 倍				
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	500 倍				
りんご	ヒメシロモンドクガ アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	1000 倍				
かき	カキノヘタムシガ イラガ類					
茶	チャノコカクモンハマキ	500～1000 倍	発生初期 ただし、摘採7日前まで			
	チャハマキ ヨモギエダシャク チャノホソガ	500 倍				
さんしょう(果実)	アゲハ類	1000 倍	発生初期 ただし、収穫前日まで			
さくら	モンクロシャチホコ	1000 倍	発生初期			
プラタナス	アメリカシロヒトリ	1000～2000 倍				
つばき類	チャドクガ	1000 倍				
樹木類	トビモンオオエダシャク	500～1000 倍				
ストック	コナガ	1000 倍				
フェニックス・ロベレニー	トビモンオオエダシャク	500～1000 倍				
芝	タマナヤガ	1000 倍			1㎡当たり 300mℓ散布	
	スジキリヨトウ シバツトガ	500～1000 倍				

プラタナス
アメリカシロヒトリに対する防除効果（日本植物防疫協会委託試験成績）



試験場名：茨城大学農学部
対象害虫名：アメリカシロヒトリ
対象害虫発生状況：中発生
処理年月日：平成22年6月7日
処理方法：ハンドスプレーにより、茎葉に十分量を散布
調査月日：処理前(6月7日)、処理1日後(6月8日)および同3日後(6月10日)

⚠ 効果・薬害等の注意

●散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
●使用に当たっては、展着剤を加用することが望ましい。
●本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵する。
●アルカリ性の強い石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面施用の肥料などとの混用は避ける。
●本剤は若令幼虫に有効なので、若令幼虫期に時期を失せず散布する。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してから使用する。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

●蚕に対する毒性があるので、養蚕主要県及びその他主要養蚕地帯では使用しない。また、養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しない。
また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合は、飛散してかからないように風向等に十分注意して散布する。なお、本剤の使用に当たっては、散布地域の使用規則に従う。
特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
③養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努める。
●茶に使用する場合は残臭のおそれがあるので、摘採前７日以内の使用はさける。
●空中散布には使用しない。
●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
●本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
●かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意する。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
●空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。

保管・・・直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。

この印刷物の記載内容は2015年3月における知見に基づいています。

15.03-10000(NU)

株式会社 エス・ディー・エス バイオテック
東京都中央区東日本橋一丁目1番5号